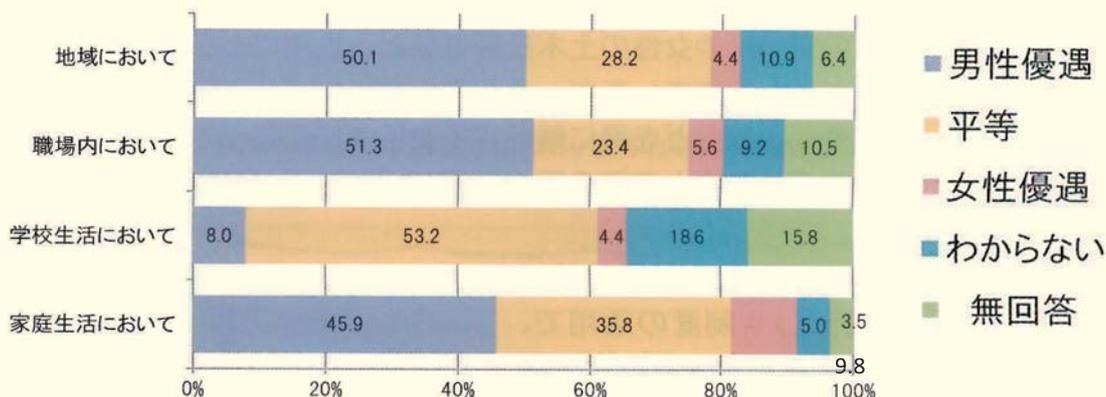


女も男も 自分らしく 輝け！なんぶ！

隔月でお知らせしています、「輝け！なんぶ！」No. 6は
『学校』がテーマです。ぜひ、ご覧ください。

【山梨県における男女の地位の平等感】

〈資料〉平成27年度実態調査



それはどうしてなのでしょう？

1990年代から学校が、「男女共同参画」の考えを取り入れるようになってきているからです。

学校では、「男だから」「女だから」という理由で「学習内容」や「活動」を区別することはなくなってきています。

他の分野と比べて、「学校生活において」は、あきらかに「男女が平等である」と、とらえている人の割合が多いことがわかります。

具体的にどんな授業をしているのでしょうか？

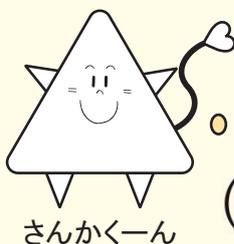
一例として、「技術・家庭科」の男女共修があります。中学も高校も男女共に必修となっています。

そこで、わが町の中学校の様子を見てみましょう。

3年生社会科の「公民」では、男女共同参画が教科書・資料集に取り上げられ学びます。その他、技術・家庭科の「保育」授業では、「生命誕生のメカニズム」「命の大切さ」を学び、出前講座で「赤ちゃん抱っこ体験」などを行っています。「初めて赤ちゃんを抱っこした」という生徒が毎年数名います。



学校での「男女を分けない」授業や活動は、
まだ他にもいろいろありそうだね。
もっと知りたくなったね！



～南部町男女共同参画審議会～

